

平成28年9月7日

ふくしま未来学

多彩なゲストに学ぶ 地域再生へのヒント

「ふくしま未来学入門」今年も開講！

福島大学では、文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（COC 事業）として、原子力災害からの地域再生を目指す「ふくしま未来学」を平成25年度からスタートしました。

本事業の社会貢献の取り組みの一環として、昨年度新規開講した「ふくしま未来学入門」を今年度も一般公開いたします。

「ふくしま未来学入門」では、地域課題の解決をめざし行動する個人や企業などを講師としてお迎えし、取り組みや経験について具体的な事例をもとに学び、課題解決型の思考を養うことを目指しています。

昨年度は、自治体職員や自営業、会社員の方などから12名の申し込みがあり、受講者からは「福島の未来について考える良い機会をいただいた」「チャレンジ精神をもって、今置かれている立場で自分にできることを考え、行動することを強く教えられた」といった感想が寄せられました。

ぜひ募集記事掲載及び当日に取材していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡下さい。

記

- 科目 「（総）ふくしま未来学入門」
- 学生受講者数 250名程度
- 開講時期 10月～翌2月 金曜日2限目10:20～11:50
- 場所 福島大学 L-1 教室
- 受講料 無料
- 受講対象者 福島県内在住・在勤のみなさま（性別、年齢、学歴を問わずどなたでも受講できます）
- 申込期限 9月25日（日）必着

※スケジュールおよび講師は添付資料をご覧ください。

【問い合わせ先】

福島大学ふくしま未来学(COC)推進室事務局
Tel : 024-504-2850 / Fax : 024-504-2849
当日の連絡先 :
080-2844-9501（新田）

福島大学から、地域のみなさまへ

COC公開授業 受講者募集!

受講料無料



あの「あまちゃん」の大友良英さんが
福島大学にやってくる!

29年
2月 スペシャルゲスト

大友 良英 (音楽家)

1959年横浜生まれ。十代を福島で過ごす。震災直後福島で立ち上げた「プロジェクト FUKUSHIMA!」の活動で「芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門」を受賞。現在に至るまで様々なかたちで福島での活動を継続している。2013年に「あまちゃん」の音楽でレコード大賞作曲賞他数多くの賞を受賞。その後もNHKドラマ「64」「トットてれび」の音楽も担当。2017年札幌国際芸術祭の芸術監督も務める。



多彩なゲスト講師に学ぶ地域再生へのヒント 「ふくしま未来学入門」今年も開講!

昨年度より開講した「ふくしま未来学入門」を、地域の方にも開放いたします。是非この機会に、福島大学「ふくしま未来学」の授業を体験してみてください。

- 教室：決定次第、ふくしま未来学のホームページにてお知らせします
- 担当教員：丹波史紀、天野和彦
- 開講時期：10月～翌2月 金曜日2時限目(10:20～11:50)
- 受講対象者：福島県内在住・在勤のみなさま (性別、年齢、学歴を問わず、どなたでも受講できます。)
- 受講料：無料
- 申込締切：9月25日(日) 必着

※希望者多数の場合には受講人数の調整をさせていただくこともあります。受講に関するご連絡は、10月4日(火)までに事務局より差し上げます。

概要

「ふくしま未来学入門」では、多彩なゲスト講師をまねき、その先進的な取り組みを学びます。本授業では震災と復興における社会問題や諸現象に対し、学問領域の枠組みを超えて多角的・総合的に考える能力を養うことをめざします。

ゲスト講師と授業スケジュール

※下記、いずれか1講義から受講できます。 ※内容等が一部変更になる場合がございます。

日程	テーマ・講師	日程	テーマ・講師
第1回 10/7(金)	メディアは何を伝えたか ～ラジオと震災～ フリーアナウンサー 大和田 新氏 福興浜団 上野 敬幸氏	第5回 11/11(金)	南相馬市の現状と 復興に向けた取り組み 南相馬市長 桜井 勝延氏
第2回 10/14(金)	東日本大震災・原子力事故の複合災害で 実際に起きていた事と現在 富岡町 産業振興課長 菅野 利行氏	第6回 11/18(金)	未来創造学 ～ふたば未来学園高等学校の取組み～ 福島県立ふたば未来学園高等学校 校長 丹野 純一氏
第3回 10/21(金)	福島復興の全体像 ～福島ならではの動向と課題～ 復興庁 福島復興局長 木幡 浩氏	第7回 11/25(金)	原発23キロメートルでの医療支援 今現場でなにが起きているか 相馬中央病院 内科医師 南相馬市立総合病院非常勤医 坪倉 正治氏
第4回 11/4(金)	農業の新たな可能性 大野農園株式会社 代表取締役 大野 栄峰氏	第8回 12/2(金)	ワカモノの「夢」が、地域を変える! 日本財団学生ボランティアセンター 常務理事 古川 秀雄氏

※授業のスケジュール及び申込方法等、詳しくは裏面をご覧ください。

日 程	テーマ・講師	日 程	テーマ・講師
第9回 12/9(金)	グローバルビジネスを経て、 土着性ビジネスに賭ける 会津電力株式会社 代表取締役副社長 山田 純氏	第12回 1/20(金)	復興支援からの地域づくり 田村市 復興応援隊 小林 奈保子氏 双葉町 復興支援員 芳門 里美氏
第10回 12/16(金)	地域のめぐみを活かしたこれからの 街づくり 株式会社東芝 インフラシステム・ソリューション社 事業開発センター地域エネルギー担当 小西 千晶氏	第13回 1/27(金)	風評対策に向けた新たな試み 福島学院大学 准教授 木村 信綱氏 飯坂温泉「祭屋湯左衛門」若旦那 柳沼 公貴氏 土湯温泉「ホテル山水荘」若旦那 渡邊 利生氏
第11回 1/6(金)	いだけ支援について 福島大学 行政政策学類 教授 鈴木 典夫氏	第14回 2/3(金)	文化の役目について ～震災から6年をへて～ 音楽家 大友 良英氏

申込方法等

1. 受講手続き いずれかの方法でお申し込みください

受講
申込
み

- ①申し込みフォーム
<https://goo.gl/forms/WI0OECaOJ5seuy9w2>
- ②Eメール 下記必要事項を明記の上、送付ください。
氏名(ふりがな)／住所／電話番号／メールアドレス／職業／受講希望理由
- ③FAX
チラシ下部の【申込書】をコピーして、FAXください。



※申込締切：平成28年9月25日(日) 必着

※お電話によるお申し込みは、聞き間違い等防止のため受け付けておりませんのでご了承ください。

2. 受講許可通知の送付

受講が確定した方宛てに「受講許可通知」を郵送いたします。受講できない場合にも郵送でお知らせいたします。

受講における留意点 (必ずお読みください)

1. 単位認定について

公開授業受講者のみなさまの単位認定の制度はございません。また、履修証明・受講修了証等の発行もいたしません。

2. 来学方法について

授業期間中は駐車場(有料)が大変混み合います。学内の駐車スペースが少ないため、来学の際は、できる限り公共交通機関をご利用いただきますようご理解とご協力をお願いいたします。

◆福島大学へのアクセス：福島大学公式HPをご覧ください。

3. 学生の受講者多数の場合、立ち見等になる場合もございます。ご了承ください。

平成28年度福島大学 ふくしま未来学 COC公開授業 申込書

申込締切：9月25日(日) 必着

氏 名	お名前 (ふりがな)		男性・女性	才
住 所	〒			
連絡先	自宅電話： () 携帯電話： () E-mail：			
職 業	1 会社員 2 自営業 3 公務員 4 教員 5 学生 6 主婦 7 無職 8 その他 ()			
受 講 希望理由 (自由記述)				

※この申込書は福島大学「ふくしま未来学」が運営する「COC公開授業」用です。

FAXの場合はこの申込書をコピーしてお申し込みください

FAX：024-504-2849

お問い合わせ・申込先 福島大学 ふくしま未来学推進室(COC)事務局

※福島大学は、平成25年度の文部科学省「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」において「原子力災害からの地域再生をめざす『ふくしま未来学』の展開」の採択を受け、「ふくしま未来学」を本格的に始動しました。「ふくしま未来学」では、原子力災害からの経験を踏まえ、地域課題を実践的に学び、未来を創造できる人材の輩出と原子力災害からの地域再生をめざします。

〒960-1296 福島市金谷川1番地 メール：miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp

電 話：024-504-2850 FAX：024-504-2849

ふくしま未来学公式ホームページ：http://coc.net.fukushima-u.ac.jp

Facebook：https://www.facebook.com/fukushima.miraigaku/



▶注意：「ふくしま未来学入門」以外の「公開授業・公開講座」については、「福島大学 地域連携課」までお問い合わせください。